

プログラム1

著作権の基礎知識

講師：齋藤祐次郎氏（齋藤祐次郎法律事務所 弁護士）
 【事例発表施設】 みらいファーム、サポートセンターハロハロー番館、
 オホホ工房 他

13:00-15:15

「著作権」という言葉自体は、テレビや新聞等で見たり聞いたりする機会も多いと思いますが、具体的にどのような権利なのか、いつ発生するのか、どのように譲渡されるのか等、「著作権」の詳しい内容については、知る機会も少ないのではないのでしょうか。今回の講義では、「著作権の基礎知識」として、「著作権」の基本的な内容について学びます。



プログラム2

スタジオクーカの 商品化の発想

講師：関根幹司氏（株式会社愉快 社長）
 北沢桃子氏（GALLERY COOCA施設長、studio COOCA福祉施設長）

15:20-17:30

商品化には大きく分けて2通りの商品があります。一つ目は利用者の「作品」を商品化したもの。二つ目は利用者の個性そのものを形にした商品です。今回の講座では両方の商品の事例をご紹介した後、スタジオクーカの発想で「人に沿った」商品化のグループワークを行います。COOCA的発想で商品化を検討してみましょう。



人材育成のための研修

「障害のある人の表現活動＝著作権と商品開発を学ぶ」

12/3(土)

入場
無料

12:30より受付開始
 17:30—終了予定

障害のある人の表現活動の現場で、支援者に作品の著作権についての馴染みがなく、知らないうちに権利を侵害してしまっていることがあります。また、商品開発をする上でも、「難しい」「どうやったら…」など、何らかの諸事情によって実現できない状況があるのではないのでしょうか。本研修会では、著作権について様々な現場で活動されている方々と共に学び、さらに作品を商品化することについて語り合える場です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

会場 山梨学院短期大学 21号館2F 206教室
 住所：〒400-8575 山梨県甲府市酒折 2-4-5

対象 福祉施設職員
 アートに関心のある人
 アーティストなど

定員 50名



【主催】 YAN(ヤン)山梨アールブリュットネットワークセンター [ホームページ <http://y-meisui.or.jp/yan/>]
 【協力】 山梨学院短期大学地域連携研究センター
 【事務局】 社会福祉法人 ハケ岳名水会 企画事業部内 〒408-0025 山梨県北杜市長坂町長坂1237-3
 ※厚生労働省「平成28年度障害者の芸術活動支援モデル事業」

申込書

人材育成のための研修

「障害のある人の表現活動＝著作権と商品開発を学ぶ」

【お申込み方法】

以下の申し込み欄に必要事項をご記入のうえ、ファックス、郵便、メールにてお送りください。
研修会に参加希望の方は11月30日(水)までにお申し込みください。

お申込み/問い合わせ先：YAN(ヤン)山梨アールブリュットネットワークセンター 事務局 瀧澤

FAX:0551-32-6351 (送信表不要)

住 所：〒408-0025 山梨県北杜市長坂町長坂下条1237-3

(社会福祉法人 ハケ岳名水会 企画事業部内)

TEL:0551-32-0035 メール：meisui-kikaku@y-meisui.or.jp ホームページ：http://y-meisui.or.jp/yan/

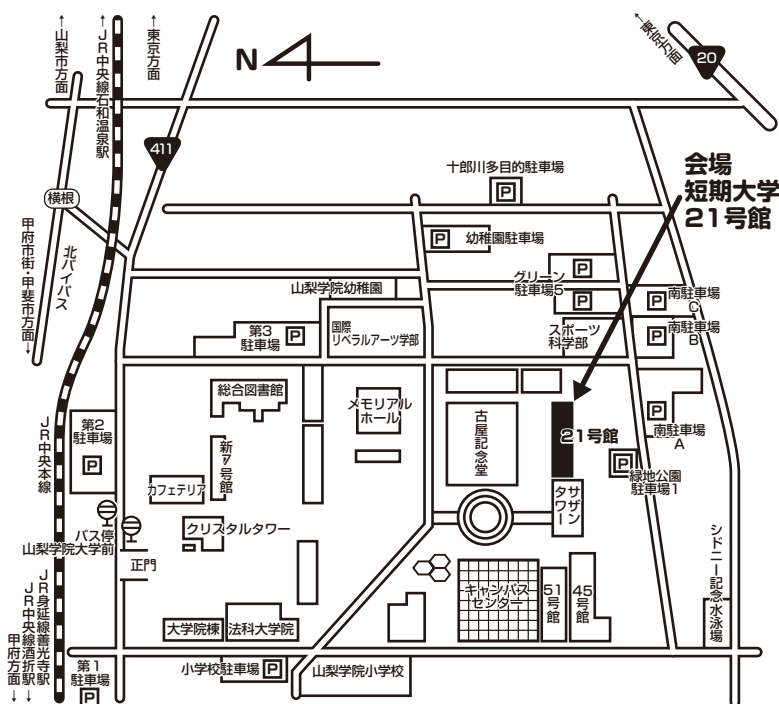
出席者

ふりがな お名前	職業・ご所属		
ご住所	〒		
TEL	FAX	E-mail	
ご質問がありましたらご記入ください。			

※研修会後の懇親会に参加しますか？ ☒ してください。 ☐ する ☐ しない

山梨学院短期大学 21号館2F 206教室

住所：〒400-8575 山梨県甲府市酒折 2-4-5



アクセスガイド

- お車でお越しの方(駐車場等のご案内)
山梨学院短期大学内駐車場をご利用ください。(無料)
※南駐車場A～Cが21号館最寄りとなります。
- バス利用の場合
(山梨学院大学)で下車
山梨学院大学前バス停から徒歩12分。
- 電車利用の方
JR中央線酒折駅下車徒歩3分。 JR身延線善光寺駅下車徒歩12分。

★★ 講師プロフィール ★★

プログラム1 著作権の基礎知識

齋藤 祐次郎 氏 齋藤祐次郎法律事務所 弁護士

平成17年10月 弁護士登録
～平成20年3月 生田・名越法律特許事務所
(現:生田・名越・高橋法律特許事務所)
平成20年4月～ 齋藤祐次郎法律事務所

プログラム2 スタジオクーカの商品化の発想

関根 幹司 氏 株式会社愉快代表取締役 studio COOCA施設長

大学時代、弟のピンチヒッターで渋々仕方なく行ったボランティア活動で出会った一人の障害者が、会の感想を聞かれて、一言「つまんない」と言った。僕はその日もいやいや行って、つまんなくても、周りが楽しそうだから、楽しそうに振舞っていたのに「つまんない」と本音を言ったのが障害者だった。彼が信頼できた。それから、ボランティア活動を積極的に否定しようとしてボランティアに参加した先で正職員として引っ張ってくれて福祉の世界に就職した。

北澤 桃子 氏 GALLERY COOCA 施設長 studio COOCA 副施設長

2003年にデザインの仕事で福祉施設に就職。施設利用者の作品に感銘を受ける。
以後、商品デザインや作品展企画などを行う。現在はクーカメンバーの才能を世界に広めることこそ社会にとって重要であるという信念のもと、その方法を試行錯誤中。

クーカってどんな福祉施設なの？

スタジオクーカは2009年にオープンしたハンディキャップのある人の福祉施設です。13年にケアホーム、15年にカフェがオープン。創作活動や調理・接客など「その人の得意なことを仕事にする / 活躍する」ことを目指しています。
物づくりは作って終わりではなく、作品展や商品化、あるいは接客という形で社会に発表していきます。発表は自信につながり、接客にはそれぞれの形があり可能性が無限です。